

地域支援 大阪市南東ブロック 通信

この通信は大阪市の南東ブロックの生野支援学校・平野支援学校が共同で作成しています。
南東ブロックの学校園の先生方とつながり、子どもたちのよりよい支援に繋がる情報を発信していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

地域支援講座



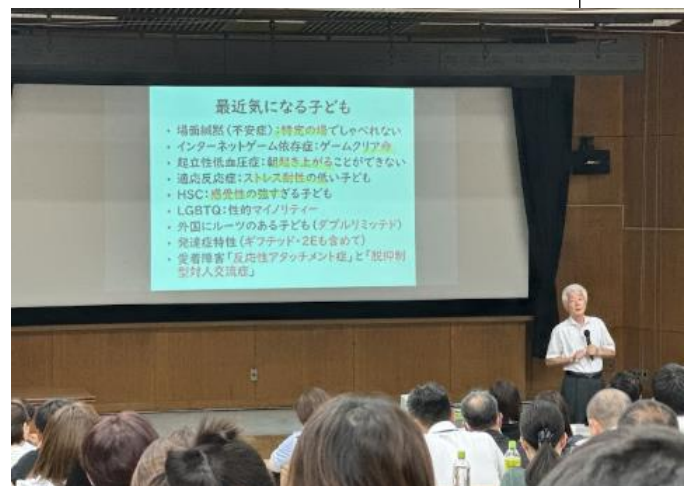
7月27日（月）毎年開催している南東ブロックの地域支援講座がありました。今年度は、生野支援学校がR10年度に移設予定の大阪府立わかば高等学校の視聴覚室をお借りして行いました。

梅花女子大学 伊丹教授の、『多様な子どもたちへの理解と支援』という内容で、大阪における子どもの支援に関する課題や支援についてのお話で、あっという間の1時間半でした。定員100名のところ、スタッフ入れて約130人の地域の学校園や支援学校の先生方が参加してくださり大盛況となりました。

暑い中でしたが、たくさん参加してくださりありがとうございました。伊丹先生のお話を楽しみにしているファンの先生方も多く、楽しいお話だけでなく、子どもを見つめるまなざしや考え方がとても温かく、そして情熱的で、明日からの活力をいただけるお話でした。

後半はグループごとで『こんな取り組みやってるよ！』と、実際に教材を持ってきてくださったり、画像で共有してくださったりしながら情報交換をしました。

最後に生野支援学校の教材をプロジェクターに映して、みなさんに紹介しました。今度訪問相談予定の小学校の先生から、「訪問相談時に教材の画像を再度見せてほしい。」というご依頼も受けました。支援学校での取り組みについて、地域からニーズが高いことがわかりました。教材を持参してくださった先生、教材を提示してくださった先生方、ご協力ありがとうございました。



生野支援学校の教材紹介

左: 手作りかるた 中: かさのさし方

右: 洗濯ばさみで数量学習



平野支援学校より

教材紹介

左：ビー玉カタカタ 右：とれるかな



夏季公開講座

◎「ビー玉カタカタ」のねらい

- ・ビー玉を目で追ったり、転がる音を聞いて視覚、聴覚からの情報に気付く。
- ・ビー玉をつまんだり、置いたりして手指の操作性を高める。

◎「とれるかな」のねらい

- ・素材の感触を感じる。
- ・球を指でつまんだり指の腹を使ったりして出し入れすることにより、手指の巧緻性を高める。
- ・器具を使って出し入れすることにより、動きを調整する力を身につける。

7月30日（木）、今年度も本校を会場として夏季公開講座を開催しました。

今回は、NPO 法人支援機器普及促進協会理事長 高松崇先生を講師としてお迎えし、「**自立に向けた自立活動で取り入れられる ICT 機器の活用**」をテーマにご講演いただきました。講演では、ICT 機器を活用した児童生徒の自立に向けた支援についてお話しいただきました。自立とは、「良いところを伸ばす」こと、障がいの特性に応じてどのような就労の可能性があるのかなど、これまで気付かなかった新たな視点からのお話もあり、参加者にとって大変興味深い内容となりました。

また、ワークショップでは実際に ICT 機器を操作しながら、iPad に備わっているさまざまな機能を体験しました。普段何気なく使っている ICT 機器にも、まだ十分に活用できていない機能が多くあることを知り、参加者からは驚きの声も上がっていました。今回の講座は、子どもたちが卒業後にどのように自立し、社会と関わっていくのかについて改めて考える貴重な2時間となりました。

暑い中にもかかわらず、地域の学校や支援学校から多くの先生方にご参加いただき、誠にありがとうございました。本校では今後も、子どもたちのよりよい成長と自立に向けて、各校に生かせる支援方法についてともに学びを設けていきたいと考えています。

次年度以降も公開講座等の開催を予定しておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



R8,9 年度の推進校は生野支援学校です。何か相談の際は、生野支援学校にご連絡お待ちしております。

どんなことでもお気軽にご相談お待ちしております。

生野支援学校 リーディングスタッフ

TEL 06-6758-3784

二次元コードでもお申込できます。

